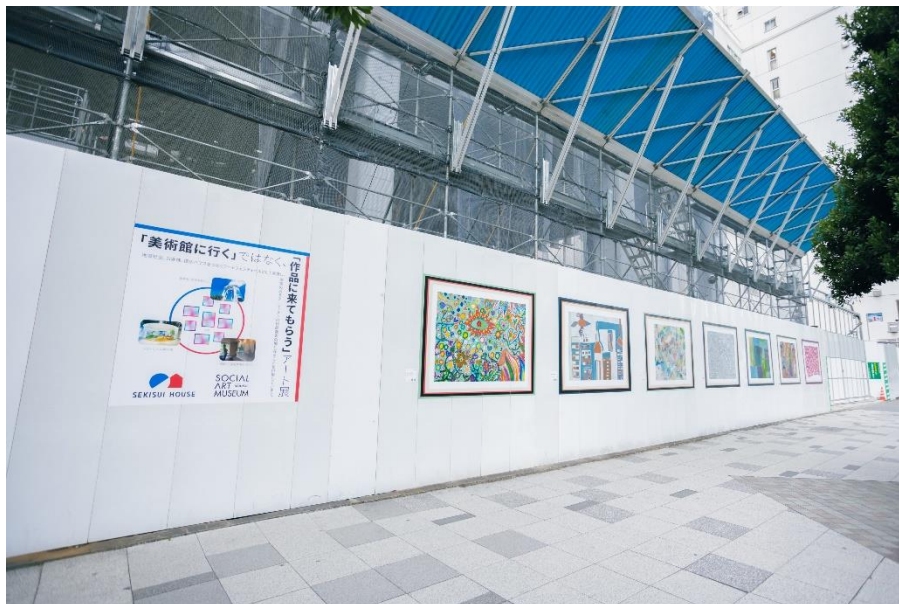


障がいのあるアーティストの作品購入がその場でできる 建設現場の仮囲いを利用した「積水ハウス地域のアート展」を開催

積水ハウス株式会社は、障がいのあるアーティストの応援を目的として、「積水ハウス地域のアート展」を開催します。本プロジェクトでは、福祉を起点に新たな文化の創造を目指す企業である株式会社ヘラルボニーとライセンス契約を結ぶアーティストによる、7つのアート作品を建設現場の仮囲いに掲示します。

掲示する建設現場として、東京都港区赤坂2丁目の「(仮称)赤坂二丁目計画」*¹を選定。期間は2023年2月1日から2024年1月31日*²までを予定しております。

本プロジェクトは掲示だけでなく、掲示されたアート使用料の一部がアーティストに還元される仕組みとなっています。また、鑑賞者が気に入った作品を、その場ですぐにも購入できるように、今回掲示するアート作品毎に二次元コードを設置します。



7つのアートの作品を掲示している建設現場の仮囲い

文化庁*³によると、過去1年間に鑑賞以外の何らかの文化芸術活動を行っている障がいのある方の令和2年の割合は、平成30年と比較して5.1%減少の11.2%となっております。

当社は上記の理由が、発表の場の不足や収入面にあると考え、この取り組みを実施します。また当社の様々な建設現場で、同様の取り組みを広げていくことを検討してまいります。

積水ハウスは“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンのもと、「ESG 経営のリーディングカンパニー」を目指しています。これからも企業理念の根本哲学である「人間愛」に立脚した企業活動の一環として、社外と協働・共創しながら障がいのある方や多様な人が活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けて貢献してまいります。

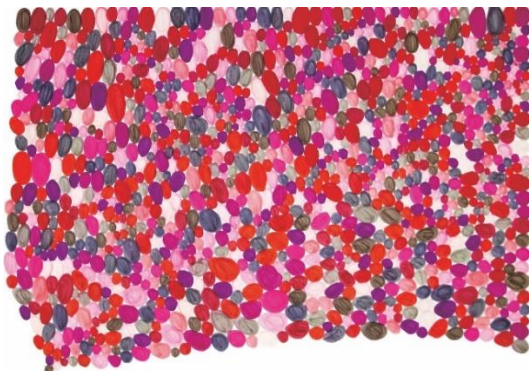
■「積水ハウス地域のアート展」について

「『美術館に行く』ではなく、『作品に来てもらう』アート展」として、地域の障がいのあるアーティストの優れた才能を発掘し、地域の当社施設や建築現場などにおいて発表の場を提供することで、街を感性で彩り、社会を幸せにする取り組みです。この取り組みは、当社の「イノベーション&コミュニケーション」を活性化する「創発型表彰制度（SHIP）」において2021年の第1回大会で準グランプリに輝いた提案を実現させたものです。今回の7つの作品は、SHIPにおいて提案した社員有志「積水ハウスアートキャラバン」チームが「幸せ」をテーマに選びました。



「積水ハウス地域のアート展」
キービジュアル

■ 掲示アート作品・アーティスト名一覧（順不同）：作品テーマは「幸せ」



「シアワセピンク」・fuco:
<https://heralbonny.com/products/fuco-happy-pink-art-panel>

- ・ 作品・アーティスト名の下部URLから、各作品の購入が可能です。
- ・ アートをご覧の皆様からのご意見、ご感想入力フォーム
<https://forms.office.com/r/23yVJdFP31>



「ふしぎな花」・小野崎晶
<https://heralbonny.com/products/aki-onosaki-mysterious-flower-art-panel>



「摩天楼を舞う」・X L
<https://heralbonny.com/products/xl-soar-above-the-skyscrapers-art-panel>



「抱負」・鈴木和也
<https://heralbonny.com/products/kazuya-suzuki-aspiration-art-panel>



「迷路で大いに遊んでくださいな！！」・笠原鉄平
<https://heralbonny.com/products/teppej-kasahara-have-a-great-time-at-the-maze-art-panel>



「緑の風」・伊賀敢男留

<https://heralbonny.com/products/kaoru-iga-green-wind-art-panel>



「楽器」・川邊紘子

<https://heralbonny.com/products/hiroko-kawabe-music-instruments-art-panel>

<株式会社ヘラルボニーについて>

本店所在地：岩手県盛岡市開運橋通 2-38 4F HERALBONY @HOMEDELUX ビル

設立：2018年7月24日

代表取締役社長：松田崇弥

事業内容：

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化の創出を目指すスタートアップベンチャー。国内外の主に知的障がいのある作家とアトライセンス契約を結び、2,000点を超えるアートデータを軸に作品をプロダクト化するアトライフブランド「HERALBONY」、建設現場等の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム/アップサイクルミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。2022年に「日本スタートアップ大賞 2022 審査委員会特別賞」を受賞。

*¹ 日本生命保険相互会社と共同事業として開発を進めています。場所及び詳細については下記URL参照ください。

<https://www.nissay.co.jp/news/2022/pdf/20220401a.pdf>

*² 工事の進捗等に変更となる場合がございます。

*³ 「障害者による文化芸術活動の推進に関する現状と今後の課題」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/shogaisha_bunkageijutsu/03/pdf/93736701_03.pdf